



証券コード:3501

第137期 報告書

2025年6月1日 ▶ 2026年5月31日

SUMINOE REPORT

CONTENTS

トップメッセージ	1
ハイライト	5
連結財務諸表	6
事業概況	7
特集	9
トピックス	11
ガバナンス	13
株式情報	14

 **SUMINOE株式会社**

SUMINOE Co., Ltd.

トップメッセージ



SUMINOE GROUPの力を結集し、 国内事業＋グローバル事業で 着実な成長を目指す

代表取締役社長
諏訪 和晃

株主のみなさまには平素より格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。

このたび、代表取締役社長に就任いたしました諏訪 和晃でございます。今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

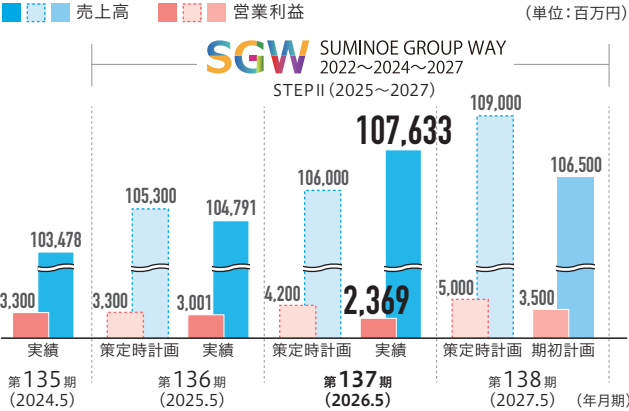
当期(2026年5月期)の業績

2026年5月期の連結業績は、売上高1,076億33百万円(前期比2.7%増)、営業利益23億69百万円(同21.1%減)、経常利益27億64百万円(同10.0%増)、親会社株主に帰属する当期純損失3億40百万円(前期 親会社株主に帰属する当期純利益6億69百万円)となりました。

当期は、セグメント別に明暗がはっきりしており、インテリア事業および自動車・車両内装事業の車両関連、機能資材事業は

いずれも堅調に推移し、インテリア事業と車両関連は中長期経営目標の最終年度計画水準を前倒して達成するなど、国内を中心とした各事業の基礎的な収益力の強さを示す一年となりました。一方、自動車関連では、北中米拠点、特にメキシコ拠点において、新規受注による急激な生産増加や仕様変更に対する整備が追いつかず、生産効率が大幅に低下しました。この影響が収益を圧迫する要因となり、全体として増収ながら営業利益は前期を下回りました。また、経常利益は、営業外損益として前期に計上した為替差損が為替差益に転じたことから増益となったも

連結数値の推移



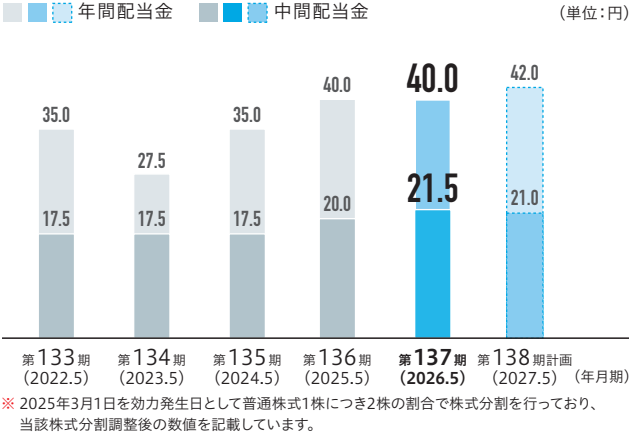
の、特別損益において、前期に計上した投資有価証券売却益が剥落したことに加え、法人税等および非支配株主に帰属する当期純利益が増加し、最終利益は赤字の結果となりました。

セグメント別では、インテリア事業では、業務用カーペットの納入物件数が増加したことに加え、「空間」全体の設計・デザインをトータルに手がけるスペース デザイン ビジネスが好調となり、売上・セグメント利益の伸長に貢献しました。

自動車・車両内装事業では、自動車関連の国内において、受注車種の生産台数増加や一部車種の新モデルへの切り替え前の駆け込み需要があったほか、鉄道・バスなどの内装材を扱う車両関連も需要増加に適切に対応し、売上高は堅調に推移しました。海外についても売上高は前期を上回ったものの、自動車メーカーの生産計画変更や新規受注に伴う生産効率の悪化により減益となりました。

機能資材事業は、ホットカーペットなどの繊維系暖房商材は暖冬の影響を受けつつも新規受注数は前期並みを維持したほ

配当金



か、当期から新たに春夏向けアイテムとして、就寝時に使用する接触冷感生地 の敷マットなどを開発し、販売を開始しました。消臭・フィルター関連も、海外モデルに搭載される空気清浄機向けフィルターや自動開閉式ゴミ箱向けのフィルターの販売が堅調に推移したことから、増収となりました。

米国の通商政策の不透明感や関税リスク、中東情勢の緊張を背景に、エネルギー・原材料市況の変動が大きい当期でしたが、関税負担については、可能な範囲で価格転嫁を進めるとともに、資材調達等のコスト高を踏まえた販売価格改定を行うなどして収益改善に努めました。

中長期経営目標の進捗

収益性と資本効率を高め、持続的な基盤強化を推進する、中長期経営目標「SUMINOE GROUP WAY 2022～2024～2027」の後半3ヵ年「SGW STEP II (2025～2027)」として、「実

力の底上げ」を確実に進めるために、5つの重点テーマ「収益性の向上」「グローバル展開のさらなる強化」「非繊維領域の強化」「経営基盤の強化」「ブランディング」を追求しています。当期の期初計画は、売上高1,050億円、営業利益31億円、経常利益33億50百万円、親会社株主に帰属する当期純利益15億円でしたが、北中米拠点の不調もあり、売上高は1,076億円と計画を上回ったものの、利益面では未達となりました。しかし、「中長期経営目標を着実に推し進める」という基本方針に変わりはありません。最終年度である2027年5月期は、売上高1,065億円、営業利益35億円、経常利益36億円、親会社株主に帰属する当期純利益14億50百万円を計画しています。

最重要課題は、収益力回復と利益率改善であると認識しており、自動車・車両内装事業の自動車関連において、引き続き北中米拠点における量産体制の安定化を軸に、生産管理・品質管理および現地マネジメント体制の強化を図り、安定的な収益基盤の構築を進めてまいります。インテリア事業では、タワーマンションや高級ホテル向けの受注好調を足がかりとして、2026年末、より高品質のカーテンを揃えた高価格帯のカーテン見本帳を投入するなど、高付加価値路線をさらに加速させます。また、原材料(ナフサなど)や労務費の上昇分については顧客交渉を通じた販売価格改定をより徹底し、収益体質の強化を図っていきます。

ESGの取り組み(環境・社会・ガバナンス)

当社グループでは、人と環境に配慮したサステナブルな製品づくりを推進し、企業価値と社会貢献の両立を目指すESG経営を実践しています。

環境面では、1989年にはペットボトル由来の再生繊維「スミトン®」、2011年には水平循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS®(エコス)」を開発・発売するなど、長きにわたって環境対応型製品の開発・販売に取り組んできました。現在、国土交通省の「建築物のライフサイクルカーボンの算定・評価等を促進する制度に関する検討会」では、今後、建築物のCO₂排出量開示義務にタイルカーペットも含むことが検討されており、当社グループが早くから排出量を算定できる基盤を整備してきたことを評価いただいているものと考えています。

さらに、2024年には「SUMINOE 残糸再生プロジェクト」をスタートさせました。カーペット・ラグの製造工程で発生する残糸を活用し、廃棄物削減に貢献しながら、高品質でデザイン性の高い、アップサイクルラグを企画、販売しています。環境に配慮しながらも、日々の暮らしに寄り添うラグを提供することで、サステナブルな社会の実現に貢献しています。

社会面では、人材育成と働きやすさに注力しています。人材育成方針に基づき、体系的な育成体制を整備し、各階層に応じた能力開発を推進しているほか、グローバル人材育成も強化しています。また、「健康経営優良法人」について、3年連続3度目の認定を受けました。これからも従業員一人ひとりが活躍できるような施策の実施を検討していきます。

ガバナンス面では、2026年1月に当社グループの情報セキュリティ体制の強化を目的として、SUMINOE-SIRT (SUMINOE Security Incident Response Team) を新設しました。企業を取り巻くサイバー脅威は急速に高度化・巧妙化しています。当社グループでも、情報セキュリティインシデントの未然防止・早期検知・迅速対応に向けた組織対応力の向上に努めていきます。

SUMINOE GROUPが目指す未来

グループ理念は、「あらゆる空間に、イノベーションを。」。革新的な発想と技術、環境対応を軸に、オンリーワンの商品を世界に届けることが、さらなる成長の鍵となります。なかでもグループシナジーを活かした「次世代自動車の提案」と「スペースデザイン ビジネス」はその試金石だと考えています。

自動車のEV化や自動運転化が進展するなかで、自動車内装事業には、快適性・意匠性・機能性を含む新たな価値創造領域としての重要性が高まっています。インテリア事業で培ったインテリアトレンドやラグジュアリー空間は得意分野です。また、自動車メーカーの購買機能の集約化が進むなか、天井材からシート表皮材、カーマット、フロアカーペットなど、車内に最適な商材を揃え、トータルに提案できるのは当社グループならではの強みです。独自の素材・加飾・縫製・機能性を統合した一体提案ができるグループシナジーに大きな競争優位性があると考えています。

スペース デザイン ビジネスでは、従来のカーペットや壁紙などの「面」を彩る製品の製造販売から事業を拡大し、グループ会社と連携を図ることで、内装設計からデザイン、特注家具製作、内装仕上工事まで、「空間」全体のプロデュースが可能です。ハイブランド店舗やホテル、タワーマンションなどの需要を背景に、高品質な空間設計・デザイン、商品提案、施工をトータルで提案できる体制をさらに強化してまいります。

株主のみなさまへ

2026年5月期は、増収減益という厳しい結果となりました。苦しいときほど成長のチャンスと捉え、2027年5月期期初計画の達成に向け、当社グループにしかない独自技術を幾重にも積み重ねるとともに、リスク要因を改善してまいります。収益体質の強化・確立を通じて株主のみなさまに着実に還元していく考えです。

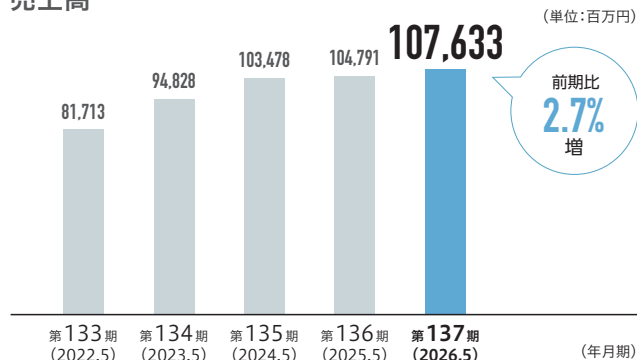
近年、個人株主の方が増加しており、とても心強く感じています。株主優待制度を引き続き充実させるとともに、業績という形で実績を示し続けることで、みなさまの長期的なご期待にお応えしていきたいと思えます。

なお、当期の1株当たり配当金は、中間21.5円、期末18.5円の年間40円とさせていただきました。翌期は、中間・期末ともに21円の年間42円とさせていただく予定です。今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

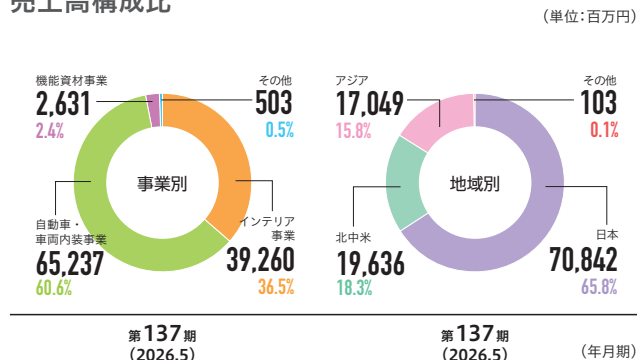


ハイライト

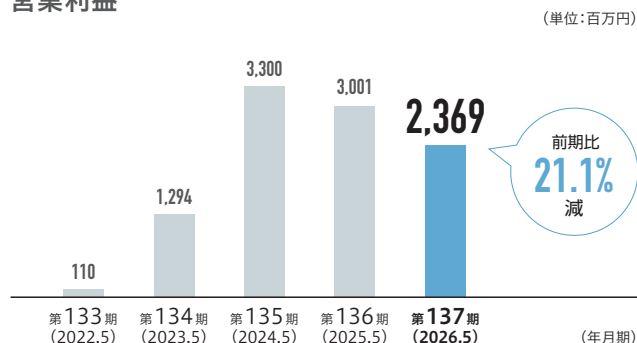
売上高



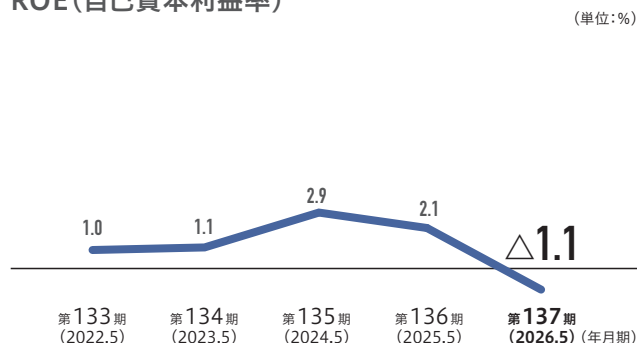
売上高構成比



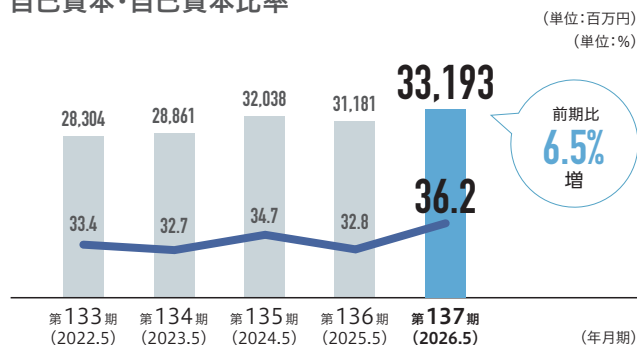
営業利益



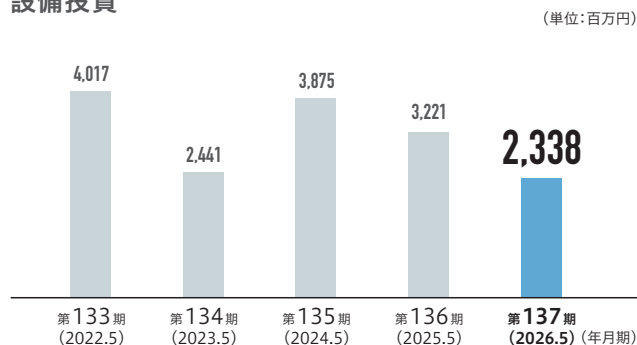
ROE (自己資本利益率)



自己資本・自己資本比率



設備投資



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前期 2025年5月31日現在	当期 2026年5月31日現在
資産の部		
流動資産	54,931	49,728
現金及び預金	8,847	8,914
受取手形、売掛金及び契約資産	15,976	14,288
電子記録債権	9,423	7,280
棚卸資産	17,097	15,912
その他の資産	3,587	3,332
固定資産	40,045	42,019
資産合計	94,976	91,748
負債の部		
流動負債	42,606	36,311
固定負債	15,206	15,613
負債合計	57,813	51,925
純資産の部		
株主資本	21,324	20,459
資本金	9,554	9,554
資本剰余金	2,388	2,388
利益剰余金	12,358	11,462
自己株式	△ 2,976	△ 2,945
その他の包括利益累計額	9,856	12,733
非支配株主持分	5,981	6,629
純資産合計	37,163	39,822
負債純資産合計	94,976	91,748

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前期 2024年6月 1日から 2025年5月31日まで	当期 2025年6月 1日から 2026年5月31日まで
売上高	104,791	107,633
売上原価	82,447	85,336
売上総利益	22,343	22,296
販売費及び一般管理費	19,341	19,927
営業利益	3,001	2,369
営業外収益	722	1,091
営業外費用	1,209	695
経常利益	2,514	2,764
特別利益	542	226
特別損失	71	89
税金等調整前当期純利益	2,984	2,901
法人税等合計	1,555	2,408
当期純利益	1,428	492
非支配株主に帰属する当期純利益	758	833
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	669	△ 340

連結キャッシュ・フロー計算書

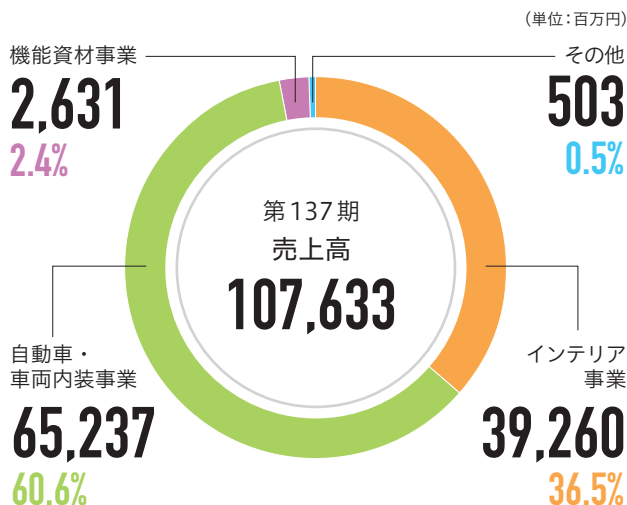
(単位:百万円)

科 目	前期 2024年6月 1日から 2025年5月31日まで	当期 2025年6月 1日から 2026年5月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,283	4,999
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,254	△ 1,775
財務活動によるキャッシュ・フロー	773	△ 4,158
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 259	513
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	543	△ 420
現金及び現金同等物の期首残高	8,153	8,697
現金及び現金同等物の期末残高	8,697	8,276

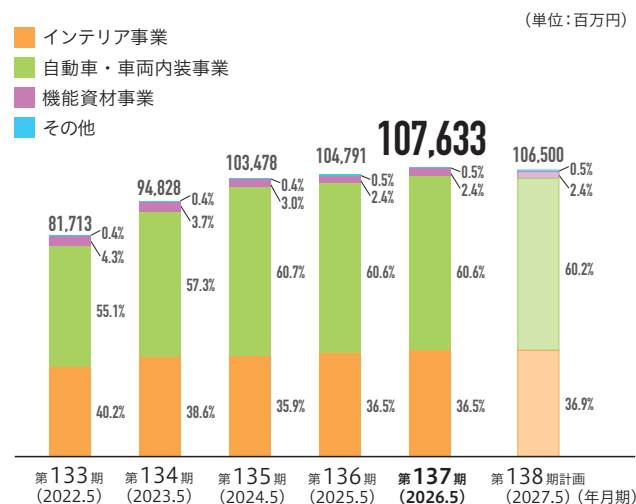
事業概況

セグメント別の概況をご報告申し上げます。

事業別売上高構成比



事業別売上高推移



インテリア事業



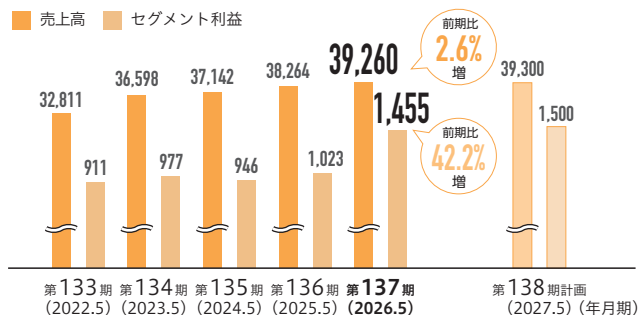
自動車・車両内装事業



機能資材事業



売上高／セグメント利益 (単位:百万円)

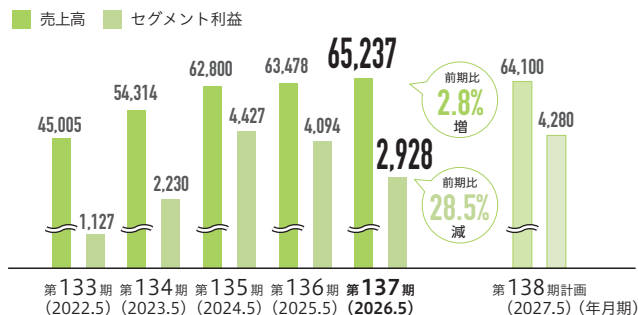


当期の業績

オフィスビルを中心に水平循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS®(エコス)」の納入物件数が増加しました。また、業務用および家庭用の高付加価値型製品の拡販が利益率の改善に寄与したほか、前期に実施したタイルカーペットなどの価格改定効果により、売上高・利益ともに前期を上回りました。

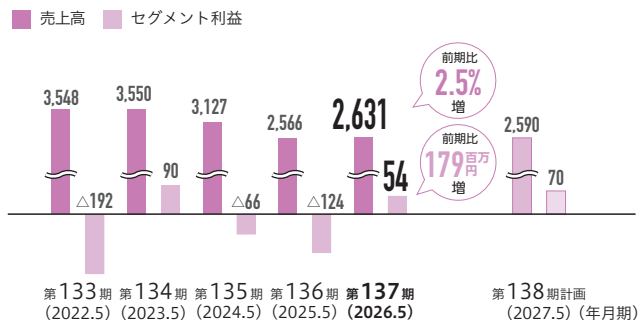
翌期の見通し

オフィスビルやホテルなどの新規・改修物件の需要増加への対応に努めるとともに、中高級ゾーンに対応した付加価値型製品群のラインナップ強化や「空間」全体をデザインできる当社グループの強みを活用した販促活動により、SUMINOEブランドの一層の認知向上を目指します。



北中米拠点の新規顧客向けフロアカーペットが寄与したほか、鉄道・バス向け内装材需要回復への対応により、売上高は前期を上回りました。利益面では、メキシコ拠点での新規受注の増加に対して生産体制の整備が追いつかず、生産効率が低下したことにより、前期を下回りました。

自動車関連では、北中米拠点の開発～量産～量産終了までの各段階における対応力強化に注力し、生産・品質の管理およびマネジメント体制の強化を図ることで安定的な収益基盤を構築します。車両関連では、車室空間のトータルデザインや安全・防災対策商材など、提案力向上を目指します。



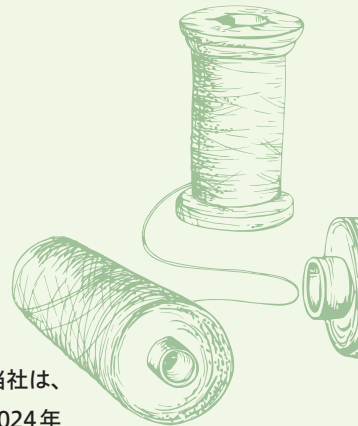
当期から新たに着手した春夏向け家電関連商材のラインナップ追加や海外モデルに搭載される空気清浄機向けフィルターが伸長し、売上高は前期を上回りました。利益面でも、ベトナム工場の生産体制再編などが奏功し、前期のセグメント損失から黒字に転換しました。

春夏向け家電関連商材の受注獲得および販路拡大に注力するとともに、ラインナップの充実を図ります。加えて、他事業との連携を強化し、当社グループ独自の素材・技術を新たな業界へ展開すべく、提案型の開発営業をさらに推進します。

特集 SUMINOE 残糸再生プロジェクト

「捨てる」を、価値に変える。 Re:Rug(リ・ラグ)が紡ぐ、新しい物語。

「残糸(ざんし)」とは、繊維製品の製造過程で余る糸のこと。140年以上にわたりカーペットを製造してきた当社は、良質でも廃棄せざるを得ない「残糸」への「もったいない」という想いを、長年抱いていました。この想いをもとに2024年に立ち上げた「残糸再生プロジェクト」から生まれたアップサイクルラグ「Re:Rug(リ・ラグ)」をご紹介します。



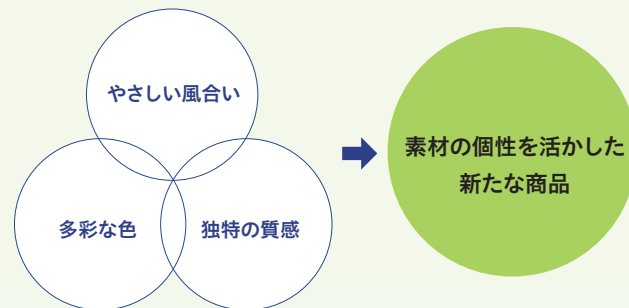
工場で生まれる残糸たち

家の中に敷かれるカーペットやラグに多彩な表現が求められるようになった一方で、1種類のカーペットにたくさんの種類の糸を使うと、色ごとの使用量の偏りや多めに発注した糸が残ってしまうことがありました。品質に問題はなくても使われ

る機会を失い、その役目を終えてしまう——色も、太さも、質感もさまざまな「残糸」。それぞれに個性がありながら、これまでは十分に活かされることなく眠っていました。

「Re:Rug」は、そんな残糸たちにもう一度光を当てる「残糸再生プロジェクト」から始まりました。

まず、文字の資料だけでは分からない糸の風合いや色味を確認するために残糸を取り寄せ、一つずつ手作業で小束に巻き直していきます。そのように、触れ、整えながら「活かせる糸」を見極め、選び分けていきました。



そして、一つひとつの素材が持つ特徴を見つめ直し、それらを組み合わせることで新たな表情を生み出す、柄製作へと進んでいきます。



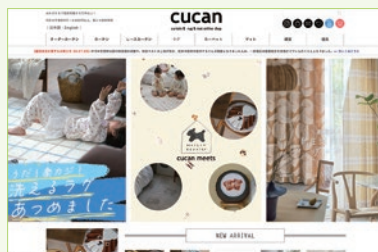
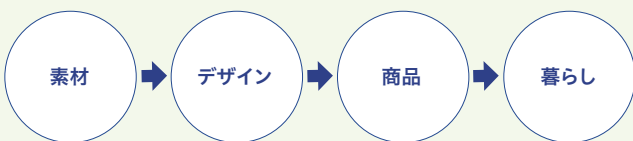
サステナブルを、もっと楽しく

こうして生まれた「Re:Rug」。第1弾では、4種類のデザインを発表しました。「Re:Rug」が目指しているのは、「環境に良いから選ばれる」ことではなく、「純粋な魅力で選ばれる」ことです。思わず手にとりたくなるデザイン。長く使いたくなる品質。素材の個性から生まれる豊かな表情。その価値が結果として資源を大切にすることや環境負荷の低減にもつながっています。サステナブルを義務ではなく、楽しみとして暮らしに取り入れる。そんな新しい価値観を提案しています。

デザイナーが見つける、新しい可能性

「Re:Rug」の商品づくりは、デザイナーと素材との対話から始まります。安定したクオリティと生産性を前提に、素材たちが持つ個性を見極め、新しいデザインへと昇華していきます。そこにあるのは、単なるリサイクルではありません。組み合わせを幾通りも重ねながら素材が持つ魅力を再発見し、新たな価値として生まれ変わらせる創造のプロセスです。

デザイナーのイメージを形にするのは、長年モノづくりを支えてきた工場の技術。品質と使い心地を両立した暮らしのなかで長く愛用される商品に仕上げ、お客さまのもとへ届けられます。



cucan



すべての糸には、まだ見ぬ可能性があります。

役目を終えたと思われていた糸も、
見方を変えれば新しい価値になる。
組み合わせが変われば、新しい表情が生まれる。
発想が変われば、新しい未来につながる。

SUMINOE GROUPは、
「あらゆる空間に、イノベーションを。」の
タグラインのもと、これからも素材、デザイン、
技術の力を掛け合わせ、
新しい価値創造に挑戦し続けます。



トピックス



インテリア事業

THE GATE HOTEL OSAKA by HULIC に
当社別注カーペットなどが採用

大阪・心斎橋エリアの新たなランドマークとなる「クオーツ心斎橋」の高層階に位置する「ザ・ゲートホテル大阪」は、心斎橋の歴史を「水路→陸→天空」という流れで捉え、長堀川の水の都から繁華街へと発展してきた都市のストーリーを、天空のホテルとして表現されています。このたび、すべての客室とパブリックエリアに、SUMINOE GROUPのカーペット、カーテン、ローマンシェード、ラグなどが採用されました。水面のきらめきや夜の街の光をモチーフとしたデザインコンセプトとなっており、別注カーペットには、心斎橋の街が水面に映り込んだ様子を表現しています。スイートルームは、天空をイメージした別注シアーカーテンで客室を包み込み、天空のくつろぎや夕焼けの空に包まれる時間を体験できるような空間を演出しています。

自動車・車両内装事業

当社内装材がトヨタ「ノア(NOAH)／
ヴォクシー(VOXY)」の大規模改良モデルに
採用

当社のシートファブリックが、2026年5月に発売開始となったトヨタのミドルサイズミニバン「ノア(NOAH)／ヴォクシー(VOXY)」の大規模改良モデルに採用されました。カーボンニュートラルへの対応を強化し、全車がハイブリッドとして完全一本化されたこのモデルは、燃費性能だけでなく、静粛性や加速フィールも大きく向上し、ファミリーカーとしての快適性が一段と高まっています。インテリアは、「上質感」と「デジタル化」が大きなテーマとなっており、メーターの大型化やスエード調素材が採用され、より高級ミニバンに近づいた仕上がりとなっています。今回納入したシートファブリックでは、新しい加飾方法として、当社の細幅織物「グレースコード®」に初めてブランドのロゴを入れたデザインを提案し、採用されました。



機能資材事業

健康食品「柿ダノミ」リニューアル、 機能性表示食品「清爽習慣」新発売

機能資材事業部門では、バイオテクノロジーに基づく健康食品・化粧品原料の機能性の研究および製造販売を展開しています。健康食品「柿ダノミ」は、奈良県産の摘果柿から特許製法で抽出した柿渋(柿ポリフェノール)を含有したサプリメントです。このたび、中身はそのままにパッケージをリニューアルし、手に取りやすい2粒入(1回分)を復活させました。コンビニなどへの販路拡大を計画しています。また、新商品として「清爽習慣」を発売しました。機能性表示食品である「清爽習慣」は、緑茶由来のエピガロカテキンガレート(EGCg)を関与成分とした、「口内環境を良好に保つ(歯垢の生成を抑える)」、レモン風味・タブレット形状でお手軽に摂取いただける口腔ケアサプリメントです。活字で機能性をPRできる販路での展開拡大を目指します。



技術・生産本部

鮮度保持剤の開発

技術開発センターでは、野菜・果物・花の鮮度保持に寄与する新規吸着剤を開発しました。本製品は、野菜などの成熟過程で発生し、老化・劣化を促進するエチレングスを高効率に吸着・分解することで、鮮度維持期間の延長を実現し、食品ロス削減など環境負荷低減にも貢献します。さらに、カビ臭の低減にも寄与し、保管・輸送時における品質向上にもつながります。酸化還元反応を効率的に高めた独自技術により、吸着・分解性能の即効性と長期安定性を両立している点も特長です。今後は量産化および市場展開に向けた実証を進め、新たな機能資材分野への展開を図ってまいります。



ガバナンス

役員（2026年8月28日現在）



永田 鉄平
代表取締役会長



諏訪 和晃
代表取締役社長



薄木 宏明
代表取締役常務※



水野 明秀
取締役※



川西 浩文
常勤監査役



野村 公平
社外取締役



種田 ゆみこ
社外取締役



加藤 恭子
社外取締役



久川 秀仁
社外取締役



天知 秀介
社外監査役



宮本 敏彦
社外監査役

執行役員

上席執行役員 服 部 太 郎
上席執行役員 上 田 研 一
上席執行役員 大 谷 浩 之

執 行 役 員 青 山 雅 一
執 行 役 員 佐々木 和 馬
執 行 役 員 田 村 裕 史

執 行 役 員 杉 江 伸 介
執 行 役 員 浦 岡 和 志
執 行 役 員 石 井 宏 明

※の取締役は上席執行役員を兼務します。

株式情報

株式の状況 (2026年5月31日現在)

発行可能株式総数	30,000,000株
発行済株式総数	15,364,324株
株 主 数	14,304名

大株主

株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株 式 会 社 高 島 屋	1,849	13.94
日 本 生 命 保 険 相 互 会 社	953	7.19
丸 紅 株 式 会 社	733	5.53
林テレンプホールディングス株式会社	466	3.51
S U M I N O E 共 栄 会	324	2.44
S U M I N O E 従業員持株会	274	2.07
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託ユニチカ口)	232	1.75
明治安田生命保険相互会社	231	1.74
ヒューリック株式会社	150	1.13
株式会社池田泉州銀行	147	1.11

※ 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しています。
2. 当社は自己株式(2,097,986株)を保有していますが、上記大株主からは除いています。
また、持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

本報告書、株式に関するお問合せ先

SUMINOE株式会社 本社総務部

TEL：06-6251-6801 FAX：06-6251-0862

株主メモ

決算日	5月31日
定時株主総会	毎年8月
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年5月31日 中間配当 毎年11月30日 その他必要あるときは、予め公告して定めます。
単元株式数	100株
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告方法	電子公告 当社ホームページをご覧ください。 https://suminoe.co.jp/ir/

みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 ご連絡先
電話 0120-288-324(フリーダイヤル)
URL <https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html>
郵送物送付先 〒168-8507
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、証券会社の口座に記録されている場合と、特別口座に記録されている場合で異なりますので、下記の該当窓口までお問合せください。

証券会社の口座に記録されている株式

お手続き・ご照会の内容	お問合せ先	
◎単元未満株式の買増・買取請求 ◎届出住所・氏名などの変更 ◎配当金の受領方法・振込先の変更	口座を開設されている証券会社	
◎郵送物の発送・返戻に関するご照会 ◎未払配当金に関するご照会※ ◎その他の株式事務手続きに関するご照会	株主名簿 管理人	みずほ信託銀行 株式会社 本店証券代行部

特別口座に記録されている株式

お手続き・ご照会の内容	お問合せ先	
◎単元未満株式の買増・買取請求 ◎届出住所・氏名などの変更 ◎配当金の受領方法・振込先の変更	特別口座 管理機関	みずほ信託銀行 株式会社 本店証券代行部
◎郵送物の発送・返戻に関するご照会 ◎未払配当金に関するご照会※ ◎その他の株式事務手続きに関するご照会	株主名簿 管理人	みずほ信託銀行 株式会社 本店証券代行部

※ 未払配当金のお支払いについては、みずほ信託銀行株式会社、株式会社みずほ銀行の本店および全国各支店でお取り扱いいたします。

会社情報

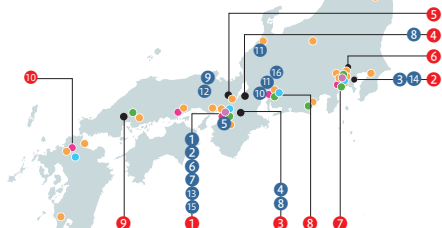
会社概要 (2026年5月31日現在)

会 社 名	SUMINOE 株式会社 SUMINOE Co., Ltd.
U R L	https://suminoe.co.jp/
本 社 所 在 地	〒542-8504 大阪市中央区南船場三丁目11番20号 TEL:06-6251-6801
創 業	1883年(明治16年)
合資会社創立	1913年(大正2年12月25日)
株式会社設立	1930年(昭和5年12月26日)
資 本 金	95億54百万円
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場
従 業 員 数	258名(連結2,986名)

国内グループ会社

SUMINOE(株)の事業所

- ① 本社
- ② 東京支店
- ③ 奈良事業所
- ④ 滋賀事業所
- ⑤ 京都美術工芸所
- ⑥ 東関東営業所
- ⑦ 西関東営業所
- ⑧ 名古屋営業所
- ⑨ 広島営業所
- ⑩ 福岡営業所



グループ会社

- ① SUMINOE(株)
- ② (株)スミノエ インテリア プロダクツ
- ③ ルノン(株)
- ④ 住江物流(株)
- ⑤ 関西ラボラトリー(株)
- ⑥ スミノエ デイジン テクノ(株)
- ⑦ 丸中装束(株)
- ⑧ 住江テクノ(株)
- ⑨ 丹後テクスタイル(株)
- ⑩ 帝人テクロス(株)
- ⑪ 尾張整染(株)
- ⑫ (株)ソーイング兵庫
- ⑬ インテック(株)
- ⑭ (株)シーピーオー
- ⑮ (株)プレテリアテキスタイル
- ⑯ 関織物(株)

各事業の営業拠点

- インテリア ● 自動車内装
- 車両内装 ● 機能資材
- スミノエ ショールーム

海外グループ会社

- ① Suminoe Textile of America Corporation
- ② Bondtex, Inc.
- ③ Suminoe Textile de Mexico, S.A. de C.V.
- ④ Bondtex Lamination de Mexico, S.A. de C.V.
- ⑤ 住江互太(広州)汽車繊維製品有限公司
- ⑥ 蘇州住江小出汽車用品有限公司
- ⑦ 住江織物商貿(上海)有限公司
- ⑧ T.C.H. Suminoe Co., Ltd.
- ⑨ Suminoe Koide (Thailand) Co., Ltd.
- ⑩ PT. Suminoe Surya Techno
- ⑪ PT. Sinar Suminoe Indonesia
- ⑫ Suminoe Teijin Techno Krishna India Pvt. Ltd.
- ⑬ Suminoe Textile Vietnam Co., Ltd.

